

【人事担当者アンケート】副業で20代を受け入れる際に求めるスキルは、「IT・DXなどのデジタル関連のスキル」が最多。「20代はデジタル領域に強い人材が多いと思うので、強みを活かして欲しい」の声。

株式会社学情は、企業の採用担当者を対象に、「20代の副業人材の受け入れ」に関するインターネットアンケートを実施しました。副業で20代を受け入れる際に求めるスキルは、「IT・DXなどのデジタル関連のスキル」が51.4%で最多となりました。「20代は、ITやデジタル領域に明るい人材が多いと思う。20代ならではの強みを活かして欲しい」といった声が寄せられました。また、副業で20代を受け入れる際に期待することは、「20代ならではの発想や感性を活かして欲しい」が57.1%で最多。副業で20代を受け入れる際は、20代ならではの感性や、20代が強みとするデジタル領域を活かして仕事をして欲しいと考える企業が多いことが分かります。

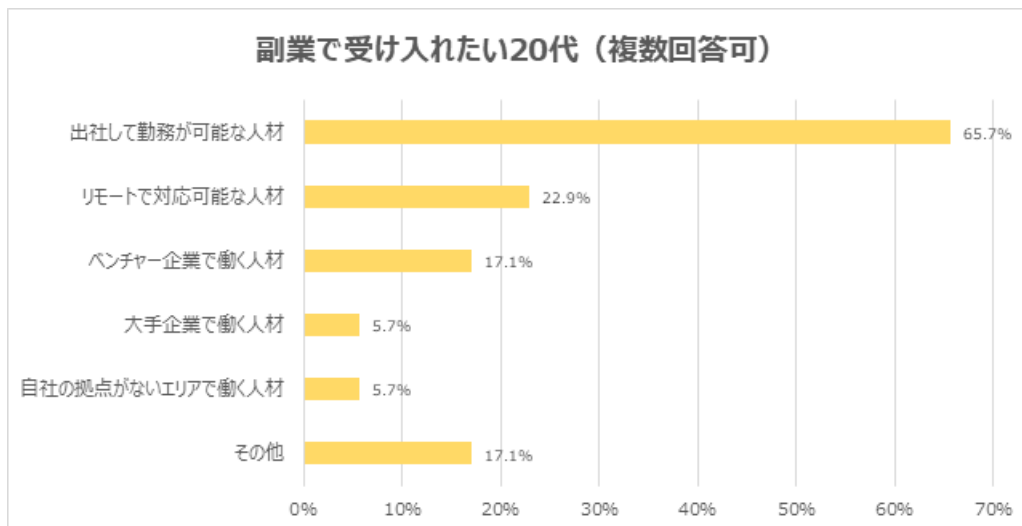
【TOPICS】

- (1) 副業で受け入れた20代は、「出社して勤務が可能な人材」が最多。「リモートで対応可能な人材」を上回る
- (2) 副業で20代を受け入れる際に求めるスキルは、「IT・DXなどのデジタル関連のスキル」が51.4%で最多
- (3) 副業で20代を受け入れる際に期待することは「20代ならではの発想や感性を活かして欲しい」が最多

【調査の背景】

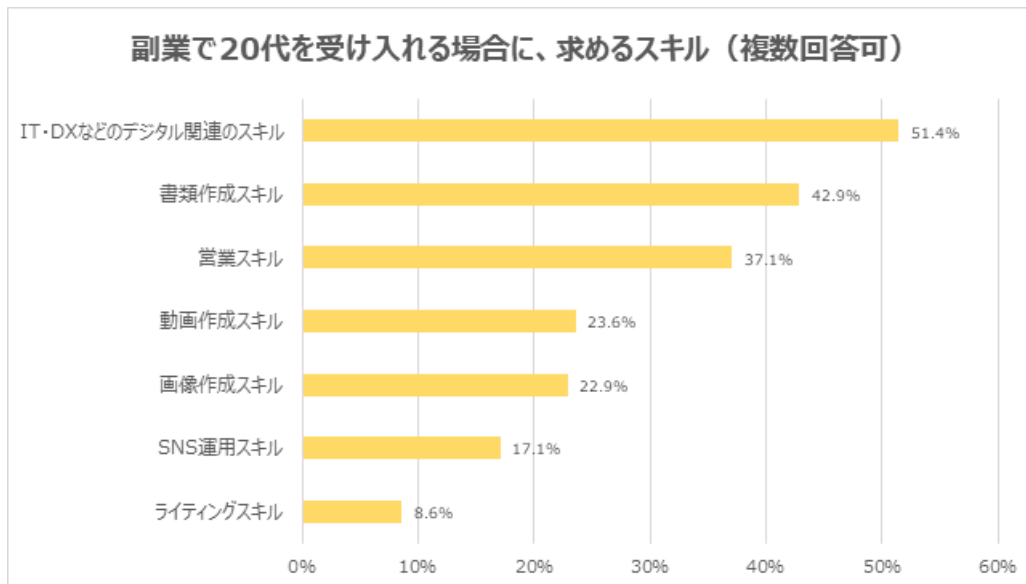
コロナ禍で「副業」に関心を持つ人が増加。20代の働き方研究所で実施した調査では、20代会社員の56.4%は、「勤務先の企業で認められていたら、副業をしたい」と回答しています。副業への関心は高まるものの、副業の受け入れ先となる募集は、専門スキルを求める求人も多く、20代では応募しにくいという課題もあります。そこで、副業を受け入れている企業を対象に「副業で20代を受け入れる際に、受け入れたい人材や、20代に期待すること」を調査しました。

- (1) 副業で受け入れた20代は、「出社して勤務が可能な人材」が最多。「リモートで対応可能な人材」を上回る



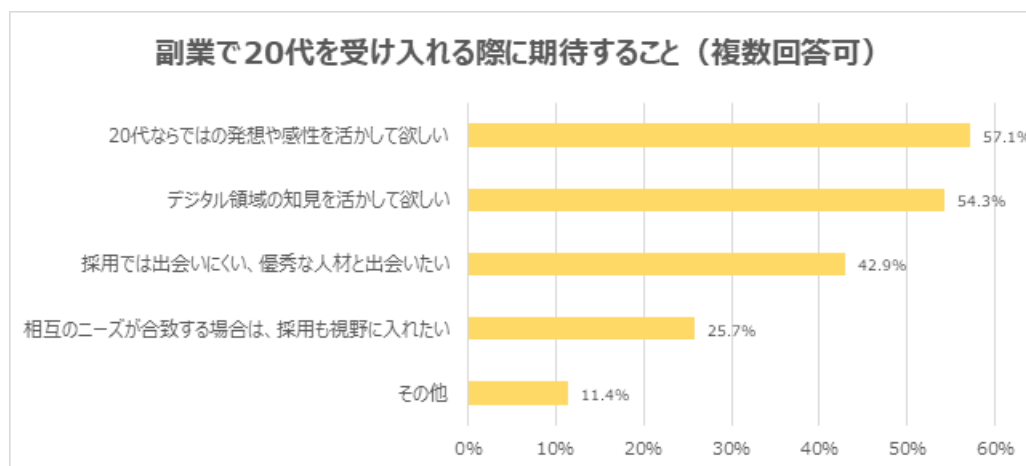
副業で受け入れたい人材は、「出社して勤務が可能な人材」が 65.7%で最多。次いで、「リモートで対応可能な人材」22.9%、「ベンチャー企業で働く人材」17.1%と続きます。「出社して勤務が可能な人材」が、「リモートで対応可能な人材」の 2.8 倍の回答を集めており、副業で働く人材にも出社をして業務をして欲しいという意向が伺えます。

(2) 副業で 20 代を受け入れる際に求めるスキルは、「IT・DX などのデジタル関連のスキル」が 51.4%で最多



副業で 20 代を受け入れる際に求めるスキルは、「IT・DX などのデジタル関連のスキル」が 51.4%で最多となりました。「IT やデジタル領域の人材は、採用が難しいので副業の受け入れも含めて、人材を確保したい」「20 代は、IT やデジタル領域に明るい人材が多いと思う。20 代ならではの強みを活かして欲しい」などの声が寄せられました。20 代はデジタルネイティブと呼ばれる世代です。デジタル領域は企業の成長ドライバーとなる領域のため、事業成長のために、20 代副業人材の IT・DX などのデジタル関連スキルを活かしたいと考える企業が多いと推察されます。

(3) 副業で 20 代を受け入れる際に期待することは「20 代ならではの発想や感性を活かして欲しい」が最多



副業で 20 代を受け入れる際に期待することは、「20 代ならではの発想や感性を活かして欲しい」が 57.1%で最多。「デジタル領域の知見を活かして欲しい」54.3%、「採用では出会いにくい、優秀な人材と出会いたい」42.9%と続きました。副業で 20 代を受け入れる際は、20 代ならではの感性や、20 代が強みとするデジタル領域を活かして仕事をして欲しいと考える企業が多いことが分かります。

■調査概要

- 調査対象：全国の企業採用担当者（副業の受け入れを実施している企業対象）
- 調査方法：Web 上でのアンケート
- 調査期間：2021 年 10 月 20 日～2021 年 10 月 25 日
- 有効回答数：35 名